|  |
| --- |
| **令和７年度大阪大学未来基金「学部学生による自主研究奨励事業」申請書・研究計画書** |
| **申請先学部** |  |
| **ふりがな****氏　　名** | 　 | **申　請****日　時** | 令和　年　月　日 |
| **連絡用****Emailアドレス** | （大阪大学からのメールを受信できるアドレスを記入してください） |
| **所属学部** |  | **学年** | 　　　　年生 | **学　籍****番　号** |  |
| **所属学科** |  |
| **共同研究者** | （共同研究の場合に共同研究者全員の学籍番号・氏名・所属学部学科・学年を記入してください） |
| **アドバイザー教員氏名** | 　 | **アドバイザー教員所属部局** |  |
| **アドバイザー教員****連絡用Emailアドレス** |  | **研究倫理教育受講の有無※** | 有　・　無 |
| **研究****課題名** | （学部学生の自由な発想に基づく自主研究を奨励します） |
| **研究費****申請額** | （一件あたり上限２０万円。2ページ目の研究費の明細の合計額と一致させること。）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 円　　 |
| **研究目的** | 研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。特に、次の点について、記述してください。① 着想に至った経緯② 何をどこまで明らかにしようとするのか③ 本研究の特色・予想される結果と意義 |
|  |
| ※研究倫理とは科学者が研究を進めるうえで必要とされる規範のことです。自主研究奨励事業の研究活動において、データや実験結果等を扱う上で一般的に注意すべきことに加え、インタビュー調査、アンケート調査、被験者を募集しての実験等、特に社会や人間を対象とする研究については、倫理的妥当性を確保することが求められていることに留意が必要です。 |
| **研究計画・方法** | 研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。 |
|  |
| **研究費の****使用明細** | まず、研究費には制約がありますので、事前に「経費使用にかかる手引き」と『「研究費の使用明細」の記載に関する注意事項』を読み、執行方法についてアドバイザー教員と具体的な相談をしたうえで計画ください。物品（品名、個数、値段等）、旅費（訪問先、旅程、交通手段、目的等）、謝金（相手、単価）をそれぞれ明確に使用用途欄に記入してください。書籍は、阪大図書館に蔵書があり借出可能かどうかを確認し、購入の必要性についても吟味してください（原則、図書館の書籍を使用してください）。また、いずれの研究費の項目についても、研究計画欄に研究のどの部分でなんのための使用かがわかるように対応した説明があるようにしてください。どれだけ明確に必要な品目の予定がたてられるかも審査対象となります。 |
| 使　用　用　途 | 金　額 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 合　　　計 | 円 |